

半世紀の歴史に幕

新たな名所へ

ACTIVE KUMIAI

甲府城南商店街振興組合

甲府城南商店街振興組合(興石陽理事長)は、これまで甲府中心街「オリオン通り」のシンボルとして、1961年の完成以降共に歩んできたアーケードが解体された。これは、当該組合が準備を進めてきた「オリオン・スクエア整備事業」によるもので、利便性と観光を目指す甲府駅周辺エリアと伝統と下町文化のある中央商店街エリアとの結節点であり、岡島百貨店やこの秋完成予定の再開発ビルと一体化空間を構成することで、山梨県内最大、甲府中心市街地活性化の推進するコア・エリアを目指している。

設置から49年が経過し、老朽化が進んだアーケードは、ガラス張りの屋根に架け替えられるが、屋根の高さはこれまでより3メートル高くなり、全長は50メートル、路面も整備され、8月の完成を目指している。

透明合わせガラスのルーフで全天候型とし、昼は太陽光で明るく、夜は星空が楽しめ、新たな名所が、出会い・楽しさ・安らぎの場を来場者に提供することとなる。

また、官民一体となったまちづくり整備事業では、甲府紅梅地区再開発ビルも現在建設中で、商業スペース、駐車場、宝石美術専門学校、住居が創出されることになっており、そちらも今秋の完成を目指して着々と準備が進められている。



取り壊されたアーケード



オリオン・スクエア完成予想図